



チャチャ通信

令和8年8月27日
子育て支援センター発行

チャチャ利用者総数

開所日数 14日 (8/3~8/21)

おとな 13名 こども 15名

R8年8月24日現在

今月の予定

3日(木) わくわくひろば①

8日(火) 園児芸術鑑賞 10:00~

17日(木) わくわくひろば②

28日(月) 出張ひろば 10:00~

29日(火) 親子サロン

●わくわくひろばでは「お月見の製作」を予定しています。

●出張ひろばは、問寒別地区へ支援センターの職員が出かけて行きます。絵の具あそびを予定しています。支援室の玩具も用意して、持って行きます。

●親子サロンでは「わらべうたあそび&おしゃべりサロン」を予定しています。

●園児芸術鑑賞はこども園の行事です。支援センターを利用する親子さんも一緒に楽しめます。今年は、「クレヨンカンパニー」という人形劇を見せてくれる方が来園しておはなしを聴かせてくれます。

※詳細については告知端末機で案内しています。事業の参加を希望される方は、準備の都合がありますので、前日までに申し込みをお願いします。不明な点がある場合は参加される前にお問い合わせください。

事業によって、開始時間が変わりますので、ご確認ください。

☎子育て支援センター(こども園) 5-1254

事業の様子から

8月のひろばでは、寒天を使った感触あそびをしました。初めて体験するつつつ、ぷるぷるした感触や冷たさに不思議そうにしながらも、良く触れていました。



どうして「寒天」をあそびに使うのか？

寒天は海藻を原料とする植物性の食品のため、アレルギーの発症リスクの少ないと言われています。低年齢児の感触あそびのときには、発達の過程で、まだ物を口に入れてしまうお子さんもいるため、万が一誤飲があっても、大事に至らない材料を選びます。感触あそびは、五感を刺激し、夢中になってあそぶことで気持ちがリラックスできる効果が期待されます。あそびや生活の経験が重なるなかで、小麦粉粘土、砂や泥など、色々な素材に触れていけるようになります。

絵本を通した親子時間

新生児の赤ちゃんはまだ、物語を楽しむ内容を理解することはできません。でも、絵本の読み聞かせる声のぬくもりや肌のふれあい、言葉のリズムやトーンを雰囲気から感じ取ることに意味があります。やり取りが安心できる時間となり、居心地の良い時間に繋がります。反応が少なくても失敗ではありません。まずは1日3分程度、声を届ける時間として、気軽に続けてみてください。



がたん ごとん
がたん ごとん
作・安西水丸
(福音館書店)



おつきさま
こんばんは
作・林 明子
(福音館書店)



だんご
ももんちゃん
作・とよた かずひこ
(福音館書店)

子育て支援センターを利用している親子さんへ向けても、こども園の絵本コーナーにある絵本は一人1冊ずつ、1週間の期限で貸し出ししています。(上記の本はどれもこども園の蔵書の一部です。)